

# 平成24年度病害虫発生予報第8号

平成24年11月1日  
愛知 県

## 果樹

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない	-

### ・ 留意事項

ナシ黒星病の発生量が多いほ場があります。発生の多かったほ場では、落葉などをほ場外に持ち出し、伝染源を残さないようにしましょう。

ナシ、カキでフジコナカイガラムシの発生が多いほ場では、粗皮削りを行った後にマシン油乳剤を丁寧に散布して防除しましょう。

## 野菜

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	軟腐病	やや多い	全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量はやや多い	± +
	べと病	平年並	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量はやや多い	- +
	アブラムシ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	コナガ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は少ない	± -
キャベツ	黒腐病	やや多い	全域	10月下旬の発生量は平年並 10月下旬に強風を伴う降雨があった 11月の降水量はやや多い	± + +
	菌核病	平年並	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量はやや多い	- +
	コナガ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は少ない	± -

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ネギ	さび病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ネギアザミウマ	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
トマト (施設)	葉かび病	平年並	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の日照時間はやや少ない	- +
	黄化葉巻病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並 黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数は平年並	± ±
	コナジラミ類	平年並	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並	±
	ハモグリバエ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	うどんこ病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
	ミナミキイロアザミウマ	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
キュウリ (施設)	うどんこ病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	べと病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の日照時間はやや少ない	+ +
	ミナミキイロアザミウマ	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
イチゴ (施設)	うどんこ病	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない	-
	ハダニ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	- ±
	オオタバコガ	やや多い	全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は多い	± +

・防除対策

〔ハクサイ・軟腐病〕

コサイドDF、スターナ水和剤などで防除しましょう。銅水和剤（無機）を用いる場合、炭酸カルシウム水和剤（クレフノンなど）を加用し薬害を防止しましょう。

〔キャベツ・黒腐病〕

カスミンボルドー、キノンドーフロアブルなどで防除しましょう。銅水和剤（無機）を

用いる場合、炭酸カルシウム水和剤（クレフノンなど）を加用し薬害を防止しましょう。

#### 〔ネギ・ネギアザミウマ〕

発生しているほ場では、スピノエース顆粒水和剤、ダントツ水溶剤、ハチハチ乳剤などで防除しましょう。

#### 〔ナス（施設）・うどんこ病〕

ジーファイン水和剤、トリフミン水和剤、ベルコートフロアブルなどで防除しましょう。発生が多くなってからでは、防除が難しくなるので、初期防除に努めましょう。

#### 〔ナス（施設）・ミナミキイロアザミウマ〕

ほ場での発生状況に注意し、ハチハチ乳剤、スタークルノアルバリン顆粒水溶剤などで早めに防除しましょう。天敵や訪花昆虫を使用しているほ場では、それらへの影響日数に注意し、農薬を選定してください。

#### 〔キュウリ（施設）・べと病〕

ランマンフロアブル、ホライズンドライフロアブルなどで防除しましょう。発病のおそれが高いと見込まれる場合は、ジマンダイセン水和剤などにより予防散布をしましょう。また、換気を十分に行い、余分なかん水を避けるなど湿度を必要以上に上げないようにするとともに、肥料切れを起こさないようにしましょう。

#### 〔野菜共通・オオタバコガ〕

キャベツでは、プレバソnfフロアブル5、プレオフフロアブルなどで防除しましょう。トマトでは、アフーム乳剤、プレオフフロアブルなどで防除しましょう。

### ・留意事項

キャベツでは、すでに菌核病の菌核の形成が確認された株もあり、発生の増加が予想されます。発病後の農薬散布では防除効果が低いので、予防的に防除を実施しましょう。特に、昨年発生が多かったほ場では注意が必要です。

トマトでは、施設の開口部に防虫ネット（目合0.4mm以下）を張り、トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介するタバココナジラミの侵入を防止しましょう。ほ場での蔓延を防止するため、発病株は抜き取って適切に処分するとともに、タバココナジラミの防除を徹底しましょう。

キュウリのミナミキイロアザミウマは、キュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）を媒介します。すでに屋外のミナミキイロアザミウマにおいて、MYSVの保毒虫を確認していますので、注意が必要です。ほ場での発生状況に注意し、防除を徹底しましょう。

イチゴのハダニ類は気温の高い状態が続くと発生量が増加するおそれがあります。発生初期に的確に防除しましょう。天敵を導入する施設で発生の多い場合は、天敵を導入する前に密度を低くしておきましょう。

### 参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台10月26日発表）

予想される向こう1か月の天候

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は低いまたは平年並の確率が40%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕 低い：30% 平年並：30% 高い：40%

〔降水量〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

「農薬使用者のみなさんへ」

飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。  
 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。  
 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう。  
 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。  
 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。  
 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。

## E-mail 配信のご案内

予報（病害虫の発生予察情報）、最新情報（病害虫の防除情報など）、注意報、その他情報（いもち情報など随時）などをメール（Word形式）でお届けします。（月2回程度）

ご希望の方は  
 件名に「E-mail配信の申し込み」  
 本文に  
 氏名  
 住所（市町村までで結構です）  
 職業（例 農薬メーカー、農業）

以上を記入し、病害虫防除室までメールでお申し込みください。

病害虫防除室メールアドレス  
[byogaichu@pref.aichi.lg.jp](mailto:byogaichu@pref.aichi.lg.jp)

